放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公

討議年月日:令和5年11月14日

<u>公表:令和5年12月1日</u>

事業所名 児童デイサービスさくら

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関 係で適切である	5			
体制	2	職員の配置数は適切である	5			
整備	3	事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされている	3	2		
	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	1	4		
業	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1		
務改善	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	2	3		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	3	2		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5			
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	5			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するため に、標準化されたアセスメントツールを使用 している	5			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	4	1		
適切	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	3	2		
な支援	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	5			
の提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認している	4	1		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを し、その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	5			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	1		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み 合わせて支援を行っている	4	1		

20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	5		
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5		
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	3	
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	3	2	
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行 する場合、それまでの支援内容等の情報を 提供する等している	3	2	
25	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研 修を受けている	2	3	
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	3	
27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	3	2	
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の 支援を行っている	2	3	
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	1	
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相 談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っ ている	5		
32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	2	3	
33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	5		
34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	4	1	
35	個人情報に十分注意している	5		
36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	5		
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている	3	2	
	21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36	20 会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している 21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡別を適切に行っている 22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている 23 定情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡別を適切に行っている 24 完成の子どもの主治医等と連絡体制を整えている 25 対対に利用していた保育所や幼稚園、認定に登りを表達を提供に努めている 26 対けのない子ども関いで情報を担けービス事業所等との間で情報を提供する等している 27 に変発達支援を行っている 28 に対して公子どもの発達では、助言や研修を受けている 29 投資を発達を援センターや発達障害者支援をからのない。子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている 28 に対してペアレント・トレーニング等のを選者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている 29 実援者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている 20 に選規程、支援の内容、利用者負担等について、支援を行っている 21 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている 22 を開援している 23 とは、子どもや保護者とら、保護者会等を開催する等により、保護者の対応力のはから、保護者のきないのでは制度を表に、子どもや保護者がらの苦情について、対応者に対し、対応ともに、子どもや保護者に対してが発信している 25 に対して発信している 26 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている 27 事業所の行事に地域住民を招待する等地	 会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている 定療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定にども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所のら障舎、それまでの支援内容等の情報を提供する等している 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している 担頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共適理解を持っている 国理解を持っている 担境を受けている 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者で対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている 環携者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている 大俣護者のより、保護者会等を開催する等により、保護者会等を関係する等により、保護者の士の連携を支援している 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者との意思の疎、方域的に対応している。 子ともや保護者との意思の疎、方域的に対応といるを発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者との意思の疎通や情報に違のための配慮をしている 個人情報に十分注意している 事業所の行事に地域住民を招待する等地 	 会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡別整適切に行っている 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている 家学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている 学校を卒業し、放課後等ディサービス事業所がら障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してベアレント・トレーニング等の支援を行っている 保護者に対してベアレント・トレーニング等の支援を行っている 保護者の対応がの向上を図る観点から、保護者に対してベアレント・トレーニング等の支援を行っている 保護者の対応があから、保護者に対して必要な助言と支援を行っている 保護者の子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている 大母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している 大学もや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知と、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者との意思の疎通や情報を達を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者との意思の疎通や情報を発きのための配慮をしている 個人情報に十分注意している 職がいのある子どもや保護者との意思の疎通の情報を子どもや保護者との意思の疎通の情報を子どもや保護者との意思の疎通の情報を子どもや保護者との意思の疎通の情報を子どもや保護者との意思の疎通の情報を子どもや保護者との意思の疎通を発行している 職がいのある子どもや保護者との意思の疎通を子どもや保護者との意思の確定を発行している 職がいのある子どもや保護者との意思の疎通を発行している 職がいのある子どもや保護者との意思の疎通を発行している 職がいのなる子どもや保護者との意思の疎通を発行している 職がいのなる子どもの発達者を発行している 職がいるのはいるのは、などのはいるのはいるのはいるのはいるのはいるのはいるのはいるのはいるのはいるのはいる

	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救 出その他必要な訓練を行っている	5		
非常時	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		
等の対応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	3	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共 有している	5		

児童発達支援事業所における自己評価結果(公

討議年月日:令和5年11月14日

公表:令和5年12月1日

事業所名 児童デイサービスさくら

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5			
	2	職員の配置数は適切である	5			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5			
	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	2	3		
Mr	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5			
業務改善	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	2		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	4	1		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	5			
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 児童発達支援計画を作成している	5			
	11	子どもの適応行動の状況を把握するため に、標準化されたアセスメントツールを使用 している	5			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	1		
適	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われ ている	4	1		
切なま	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5			
支援の	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	4	1		
提供	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	4	1		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認している	4	1		
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せを し、その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	5			
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底 し、支援の検証・改善につなげている	4	1		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5			

	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	5		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	1	
関係機関や	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育 等の関係機関と連携した支援を行っている	3	2	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	2	3	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、 支援内容等の情報共有と相互理解を図って いる	4	1	
保護者との	26	移行支援として、小学校や特別支援学校 (小学部)との間で、支援内容等の情報共有 と相互理解を図っている	4	1	
連携	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	3	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流 や、障がいのない子どもと活動する機会が ある	2	3	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子 ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	3	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対して家族支援プログラム(ペアレン ト・トレーニング等)の支援を行っている	3	2	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説 明を行っている	5		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5		
保護	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に 対する相談に適切に応じ、必要な助言と支 援を行っている	5		
護者への	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	2	3	
説明責任等	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	5		
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5		
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	5	_	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている	2	3	

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、 感染症対応マニュアル等を策定し、職員や 保護者に周知するとともに、発生を想定した 訓練を実施している	4	1	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救 出その他必要な訓練を行っている	5		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等 のこどもの状況を確認している	4	1	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	3	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共 有している	5		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	1	

〇この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。